

[Zwei L]

究極の仕上げが成すインテリアの恍惚

空間にあるだけで、圧倒的な存在感を示す
 建築金物「Zwei L (ツヴァイル)」シリーズ。デザインオブジェのような、
 そのたたずまいが、ハイエンドな空間に調和する。

Text Nile's NILE



圧倒的な存在感を放ち、デザインオブジェのようなツヴァイルシリーズのつまみ。



レバーハンドルは3デザインをそろえる。



サニタリー用のフォーセット、つまみ、ハンドル、引手、フックなど44種をそろえる。



1 浴室ドアのハンドル、脱衣室のドアのレバーハンドルとサムターン、サニタリースペースの棚受、水栓をツヴァイルシリーズでそろえる。
 2 ツヴァイルシリーズのフックはインテリアとしての存在感をかもしだしている。



●東京ショールーム
 東京都千代田区岩本町2-5-10
 営業時間 / 9:00~18:00 (土・日・祝日は定休日)
 TEL / 03-3864-1122 (代)
 大阪、名古屋、京都、福岡にもショールームがあります。

ナイルスナイル次号



周到にデザインしたエクステリアに最適な、こだわりを大切にしたい電動シャッターシステム「アーキテリアシャッター」をご紹介します。

実際にドアハンドルをつかんだ時のグリップ感は、握りやすさはもちろん、適度な重みも感じられ、気品ある重厚感が手の感触からも伝わってくる。

スガツネ工業では、東京をはじめ全国5カ所のショールームでツヴァイルシリーズを展示している。カタログだけではわからない、感触やデザイン、動きなどを体感してみたいかがだろう。

緻な仕上がり追求している。また、エッジの美しさも特長といえる。研磨を行っていくと、人の目にもわかるほどの角部のダレが出てしまうものだが、職人の技術と工夫で、シャープな印象を保ちつつ、その鋭利さが手触りを損ねることがないように調整されている。

一方、上質のシルク糸を紡いだように艶やかな光を放つサテンは、カーブまでゆがみなく、よどみなく均一に仕上げられている。特に鏡面研磨との境目は拡大鏡で見ても1本の筋にしか見えないほどの洗練された仕上がりとなっている。

さらに、耐久性の点でも優れている。全ての部材が錆に強いステンレス鋼製で、中でも最高クラスの耐食性(錆に対する強さ)を持つ「SU S316」を使用している。住宅や商業施設などはもちろん、船舶にまで使用用途は広がる。世界的なセレクトブリーダーがクルーザーの内装に採用した実績もあり、まさに最上のインテリア空間を演出する逸品といえるだろう。

住まいのインテリアを考える際、ドアハンドルなどの建築金物を、インテリアの一つとして見たことはあるだろうか。毎日目にし、手に触れることも多い場所だからこそ、実はこだわりたい部分でもある。特に存在感のあるものであれば、それは空間のアクセントにもなり、部屋の雰囲気をも左右する。

ここに、まるでデザインオブジェのような造形美をまとう建築金物がある。家具金物・建築金物を主に扱うトップメーカーとして85年の歴史を持つスガツネ工業が手がける、フラッグシップブランド、「Zwei L (ツヴァイル)」シリーズだ。ドアハンドルをはじめ、ドアノブ、フック、棚受からサニタリースペースの建築金物まで、44種の製品数をそろえる。建築金物という、ともしれば目が行きづらい部分に、空間のアクセントとなるような、圧倒的な存在感を放つ建築金物を置く。それはハイエンドな空間に許されたステータスといえるだろう。

ツヴァイルシリーズの特長は、究極の鏡面研磨とサテン仕上げだ。シリーズ名のツヴァイルは、ドイツ語で「二つの光」を意味し、ミラー(鏡面)の光とサテンの光を表している。澄んだ湖水の深淵をおもわせるミラーの輝きは、スガツネ工業の鏡面研磨の技術があつてこそなせるものであり、一点一点が、熟練した職人が職人の手仕事で仕上げられている。研磨粒度は通常の鏡面研磨のおよそ2倍、工程数は5倍にもおよび、精